

社会還元加速プロジェクトについて

社会還元加速プロジェクトについて

従来の問題点：要素技術としては確立はあるものの、それらを統合し一歩進めた形での成果を国民が享受できていない。

異分野技術融合、官民協力・府省融合、システム改革、実証研究(5年以内に開始)を通して成果の社会還元を加速
総合科学技術会議が司令塔となり、関係府省の融合、官民連携の下、推進

社会還元加速プロジェクト (6プロジェクト)

1. 生涯健康な社会
 - ・人体機能を再生する医療
2. 安全・安心な社会
 - ・災害情報通信システム
 - ・安全で効率的な道路交通システム (ITS)
3. 多様な人生を送れる社会
 - ・先進的な在宅医療・介護
4. 世界的課題解決に貢献する社会
 - ・バイオマス資源の総合利活用
5. 世界に開かれた社会
 - ・音声翻訳コミュニケーション技術

社会還元加速プロジェクトの推進体制

6つのプロジェクト毎に、プロジェクトリーダー(常勤議員)を座長とし、サブリーダー、施策を担当する各省の責任者(課長級以上)と外部専門家から構成される**タスクフォース**にて推進。

タスクフォースで行う内容

- ・各省施策の調整と指示
- ・技術開発とシステム改革が一体となった**ロードマップ**を作成し、各省の施策を推進

サブリーダー

サブリーダーはプロジェクトリーダーに準ずる権限のもとで、各省との総合調整及び指示など総合科学技術のイニシアティブを体現して活動するため、以下の条件を満たす者であることが必要。

- ①プロジェクトに対する高い**専門性**を有する者
- ②詳細なロードマップの構築など自ら**企画・立案**できる者
- ③各省と交渉し、各省施策やシステム・制度の改革等を調整・指示できる者
(**強力なリーダーシップ**を発揮できる者)

